# 私のフランス語

※2020 年度インタビュー

## 国際関係学部 Tさん







# 外国人をサポートする仕事がしたい # スピーキングとリスニングが課題 # 現地で本格的に学びたい

#短期留学 #留学前の不安 #長期留学 #BBP # コミュニケーションルーム

# 学内のリソースを活用 # 友人と刺激しあって学ぶ

高校 3 年生の時に、実家にフランス人留学生をホストファミリーとして迎えたことから、フランス語やフランスの文化に 興味を持つきっかけとなりました。

初修外国語は大学に入学するまで学んだことはありませんでしたが、初修外国語を勉強することは自身の将来にとって も強みになるという想いもあり、大学入学後、フランス語を熱心に学びました。また、中学生の頃から英語が好きで、 国際的な政治や社会問題にも興味があったため、学部は国際関係学部を選択しました。フランス語の授業は基礎の基礎 から始まり、徐々に内容がレベルアップしていきました。リスニングと発音の学習が特に難しかったのですが、ネイティ ブの先生方の丁寧な指導がありました。授業外でも外国語コミュニケーションルーム\*など、学内のリソースも最大限に 活用し、勉強に取り組みました。また、動画配信サービスなどを活用し、積極的にフランス語と触れるよう意識していま した。

2 回生では副専攻 \*\* の授業を履修しました。フランス語の先生は授業外に、留学で立命館に来ているフランス人学生 と日本人学生の交流会を開催してくれるなど、授業外でもフランス語を活用できる機会を提供してくれる工夫がされてい ました。、また、BBP\*\*\* も活用し、授業外でも積極的にフランス語を学習しました。周囲の学生もフランス語を学ぶモ チベーションが高く、刺激しあいながら勉強することができたと感じています。学習を進めるうちにフランス語を現地で 学んでみたいと思うようになり、フランスへの留学を決意しました。

3回生になってからは今まで学んできた内容よりも、学ぶ文法や内容も高度なものになり、フランス語の壁にぶつかり ました。また、留学への不安な気持ちもあり、少しフランス語を学ぶモチベーションが低下した時期もありましたが、3 回生の夏からフランスのリヨン第三大学に留学をしました。留学当初は日本と海外との文化の違いや生活に必要な手続 き関係などで苦労をしましたが、徐々に環境にも慣れていき、フランス語の上達を実感しました。また、実際に現地で フランスの文化に触れることが大きな刺激となりました。

コロナ禍のため、当初予定していたよりも早くフランスから帰国することになったことが残念でしたが、帰国後も継続し て学習するため、フランス語の授業を履修しました大学生活の4年間でフランス語をしっかりと学び、フランス語の運用 能力にも自信がつきました。将来的には大学で学んだフランス語を活かして、日本で外国人の支援を行うような仕事を 経験したいと考えています。

### 語句紹介

\*コミュニケーションルーム:本学の学生であれば、誰でも気軽に参加できる授業外の外国語教室(英語・初修語) http://www.ritsumei.ac.jp/bbp/reservation/communication/

\*\* 副専攻:必修外国語の履修などでこれまでに培った外国語能力をベースに、より一層高い運用能力とその外国語学習を 通じて幅広い教養を身につけることを目的としたプログラム。(対象の学部:法学部・産業社会学部・文学部・

国際関係学部・映像学部・経済学部・食マネジメント学部)

http://www.ritsumei.ac.jp/gengo/seika-manabi/minor.html/

\*\*\* BBP:国際交流や言語学習を中心としたグローバルコモンズ http://www.ritsumei.ac.jp/bbp/

# 私のフランス語+R

※2020年度インタビュー

## 経済学部 A さん



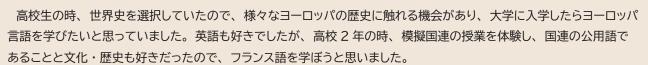


#英語より複雑 #語学力の不十分さを痛感

#短期留学 # 長期留学 # コミュニケーションルーム

#オナーズプログラム #EDGE+R #文化的な側面から学ぶ

# 少しずつステップアップ # 他学部の学生との交流



最初は発音や名詞の種類など英語よりも複雑なこともあり難しく、なかなか語学力が上がらず悩みました。1回生の春休みに参加した、経済学部の2週間のイギリスへの海外フィールドワークプログラム\*で、企業訪問を通じて、英語プラスもう1つの言語を飛躍的に伸ばすことで活躍のフィールドや可能性が広がることを実感し、語学学習に対するモチベーションがあがりました。

2回生からは副専攻\*\*の授業に力を入れました。それ以外では、コミュニケーションルーム\*\*\*、フランス語能力認定 資格 DELF の検定試験の勉強に取り組みました。語学のレベルを段階的に分けて、少しずつステップアップするように 意識し、また語学の学習だけでなく、映画、音楽、食を通じて文化的な側面からも触れるよう心掛けました。また、動 画配信サービスも活用しました。また語学学習とは別ですが、国際社会で活躍する人材養成特別プログラムであるオナー ズプログラム\*\*\*\*に参加し、他学部の学生と交流できてよい経験だったと感じています。

3回生の9月からボルドーモンテーニュ大学に約半年間、交換留学をしました。ワインに興味があったこと、また治安がよく、留学生の多い街でもあったことから留学先を決めました。現地で語学力の不十分さを痛感しましたが、これまで家族の都合で海外滞在の経験があったので、カルチャーショックやストレスを感じることはなく、日々の努力の積み重ねで乗り越えました。また、小学校からサッカーをやっていたので、サッカーを通じてコミュニケーションの輪も広がりました。他愛のない会話で、英語よりもフランス語の方がスムーズに話すことができ、フランス語の上達を実感できました。留学中にフランス語能力認定資格 DELF の B1 に合格するまで語学力を向上させることができました。

ヨーロッパなどの比較経済が専門だったので、帰国後はフランス語を活用し、海外の文献やニュースなどの最先端の情報を集めることができました。また現在、EDGE+R\*\*\*\*\*のプログラムにも参加して、他学部の学生と交流しています。また、そこのプログラムを通して、フランス留学で得た考え・価値観、語学学習を通じて得たアイディアを生かして、他の人たちに還元し、共有しています。

卒業後は化学系の商社に就職します。グローバルなフィールドなので、フランス語・英語はさらに向上させていきたいと思っています。今はフランス語能力認定資格 DELF の B2 を目指しており、将来的には海外大学院への進学も視野に入れています。

### 語句紹介

\*海外フィールドワークプログラム:経済部で行われている短期の留学プログラム。

\*\* 副専攻:必修外国語の履修などでこれまでに培った外国語能力をベースに、より一層高い運用能力とその外国語学習を通じて幅広い教養を身につける ことを目的としたプログラム。(対象の学部:法学部・産業社会学部・文学部・国際関係学部・映像学部・経済学部・食マネジメント学部) http://www.ritsumei.ac.jp/gengo/seika-manabi/minor.html/

\*\*\* コミュニケーションルーム:本学の学生であれば、誰でも気軽に参加できる授業外の外国語教室(英語・初修語)

http://www.ritsumei.ac.jp/bbp/reservation/communication/

\*\*\*\* オナーズプログラム:国際社会で活躍する人材養成特別プログラム

\*\*\*\*\* EDGE+R:イノベーション・アーキテクト養成プログラム。 イノベーション創出を 担い得る次世代の育成を目的とした実践型プログラム。